

イーストスプリング・ フィリピン株式オープン

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主にフィリピンの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜わりますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング
<https://www.eastspring.co.jp/>

[お問い合わせ先]

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

日経新聞掲載名：フィリピン株

第26期末(2025年9月8日)	
基 準 価 額	9,024円
純 資 産 総 額	1,029百万円
第26期	
騰 落 率	0.1%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 謄落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

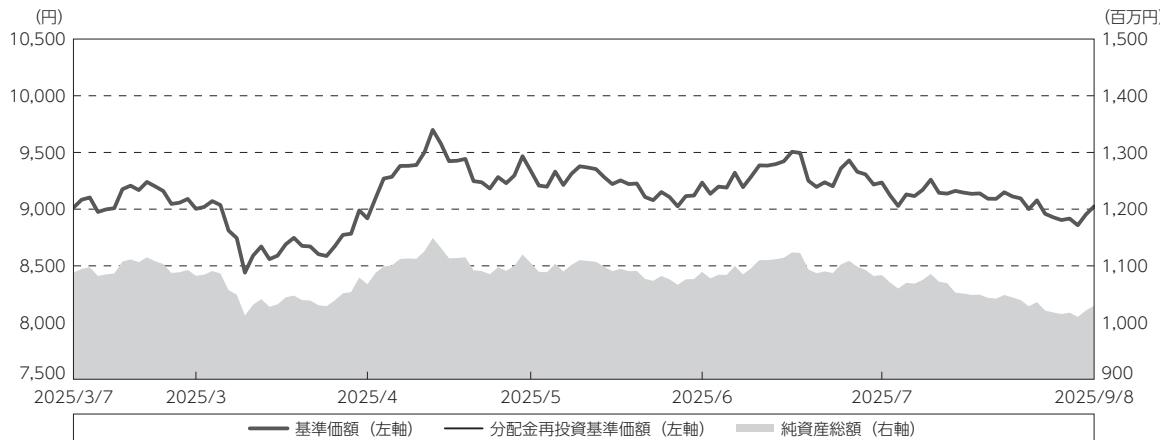
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2025年3月8日～2025年9月8日)



期 首：9,013円

期 末：9,024円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 0.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2025年3月7日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・フィリピンペソが対円で上昇したこと。

1万口当たりの費用明細

(2025年3月8日～2025年9月8日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 64	% 0.697	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価
(投信会社)	(24)	(0.268)	
(販売会社)	(38)	(0.418)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他の費用	5	0.051	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(2)	(0.025)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(2)	(0.025)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他の1)	(0)	(0.001)	信託管理事務に係る手数料
合計	69	0.748	
期中の平均基準価額は、9,114円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

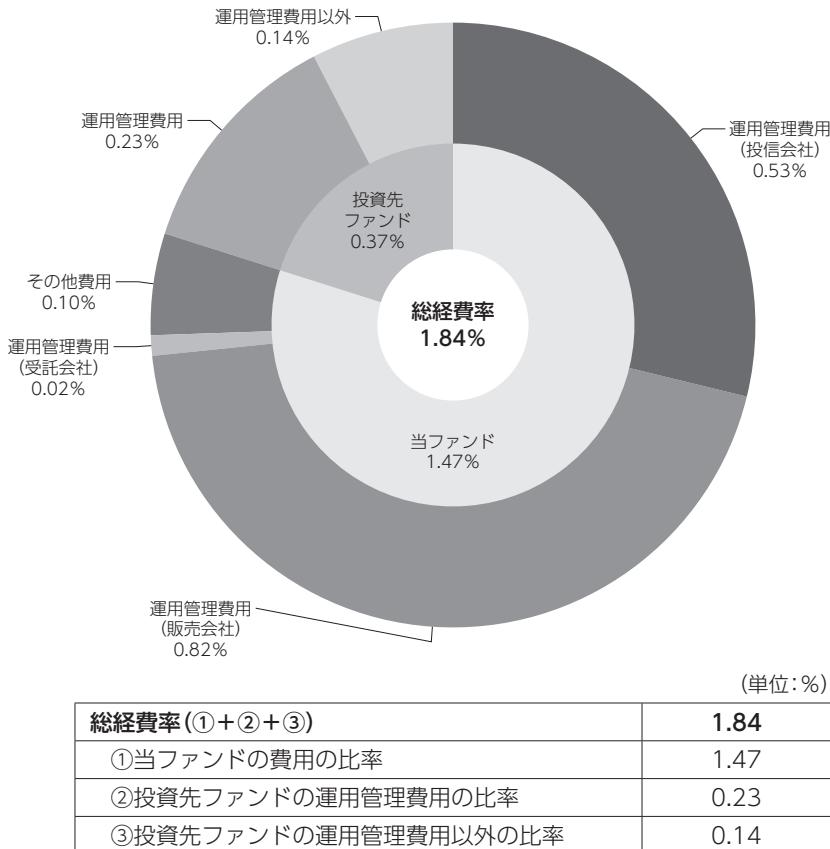
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移について

(2020年9月7日～2025年9月8日)



	2020年9月7日 決算日	2021年9月7日 決算日	2022年9月7日 決算日	2023年9月7日 決算日	2024年9月9日 決算日	2025年9月8日 決算日
基準価額 (円)	6,842	8,177	9,089	8,896	9,674	9,024
期間分配金合計（税込み） (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	19.5	11.2	△ 2.1	8.7	△ 6.7
純資産総額 (百万円)	1,437	1,339	1,214	1,255	1,212	1,029

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

（注）騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

（注）当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■ 投資環境について

フィリピン株式市場

当期のフィリピン株式市場は小幅に下落しました。2025年3月までは米国の関税政策への不透明感からやや軟調な展開でしたが、4月上旬に米トランプ関税が発表され、世界的な株安となりフィリピン株式市場も急落しました。その後は関税実施まで90日間にわたり相互関税の適用が休止されたことやフィリピン中央銀行による利下げなどから市場は反発しました。5月から7月末にかけては、インフレの落ち着きを背景に金融緩和政策は継続されたものの、マルコス大統領による閣僚人事への不透明感の高まりや政府によるオンラインカジノの規制強化への懸念などを背景に上値の重い展開が続きました。8月以降は対米ドルでのフィリピンペソ安や企業収益への懸念などから軟調な展開となりました。

為替市場

フィリピンペソは、2025年4月初めから5月末にかけて好調なマクロ経済および落ち着いたインフレ動向を背景に、対米ドルで上昇基調をたどりました。しかし、その後は米トランプ関税により米国の利下げが休止される中、フィリピン中央銀行が4月、6月、8月と期中3回の利下げを継続したことから、フィリピンペソは対米ドルで軟調に推移しました。円は、米トランプ関税の影響を受け、日銀の利上げが休止されたことから、対米ドルで概ねボックス圏で推移し、通期ではフィリピンペソは円に対して小幅の上昇で終わりました。

国内債券市場

国内債券市場は、10年国債利回りが米トランプ関税による米国の景気悪化懸念などから円が買われる中、日本国債の利回りは急低下し、2025年4月上旬には一時1.1%を下回りました。その後米トランプ関税に対する悲観的な見方が和らぐ中、上昇を続け、7月の参議院選挙での与党敗北による財政悪化懸念などから、8月後半には1.6%を超え、期末には1.5%台で終わりました。

■ ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ（以下「フィリピン・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

フィリピン・エクイティ

フィリピン株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期は米比間の相互関税の合意や2025年4-6月期決算で南米など海外ビジネスが好調であったことを背景に予想を上回ったことから株価が上昇した港湾運営企業（INTERNATIONAL CONTAINER TERMINAL SERVICES, INC.）などの保有がプラス要因となる一方、2025年上半期決算で予想以上に不良債権額が増加していたことが嫌気され株価が下落した大手銀行（BANK OF THE PHILIPPINE ISLAND）などの保有がマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1～10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第26期
	2025年3月8日～ 2025年9月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	－ －%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,953

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) －印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるフィリピン・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

フィリピン・エクイティ

フィリピンのインフレ率は、フィリピン中央銀行のインフレターゲットである2～4%の下限を引き続き下回っており、中央銀行が今後も金融緩和政策を継続する可能性があります。米国との関税交渉ではフィリピンから米国への輸出品に対し関税率が19%で合意されましたが、フィリピン経済は元々内需主導型であることから、他のアジア諸国に比べて関税による経済への直接的な悪影響は限定的と考えられます。しかし、フィリピン経済と比較的つながりの強い中国経済の減速などによる間接的な影響には注視が必要です。また、最近発覚した、洪水対策をめぐる公務員による巨額の汚職疑惑は、今後の財政支出による景気刺激策への影響が懸念されます。

セクター別では、2025年4～6月期決算が全体としては不調であったものの、今後利益率の改善などが見込まれることや、国内事業だけでなく海外事業への展開が期待される消費関連銘柄などについては

引き続き強気に見ています。一方、8月に全国的なインターネットの整備拡大などを図る法案が成立したことから今後規制緩和の動きが強まっていくことが予想される通信業界については、中立のスタンスで臨みます。また、貸出の伸び、健全な資産、預金準備率の引き下げによる利ざやの拡大などを背景に銀行セクターについても一部割高な銘柄を除き相対的に強気なスタンスを維持しています。従来弱気スタンスであった不動産セクターについては、低金利の環境が継続することが予想されることから中立のスタンスに変更しました。今後も投資環境の変化に対する市場の反応などに留意しつつ、下落局面では割安となったファンダメンタルズの強固な優良銘柄に選別投資を行います。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1～10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

お知らせ

2023年11月の「投資信託及び投資法人に関する法律（以下「投信法」といいます。）」の一部改正に伴い、2025年4月1日付で「運用報告書に記載すべき事項の提供」に係る条文を「運用状況に係る情報の提供」に変更するため信託約款に所要の変更を行いました。

2023年11月の「投信法」の一部改正により、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	無期限（2012年9月28日設定）
運 用 方 針	主にフィリピンの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運 用 方 法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時（毎年3月7日および9月7日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

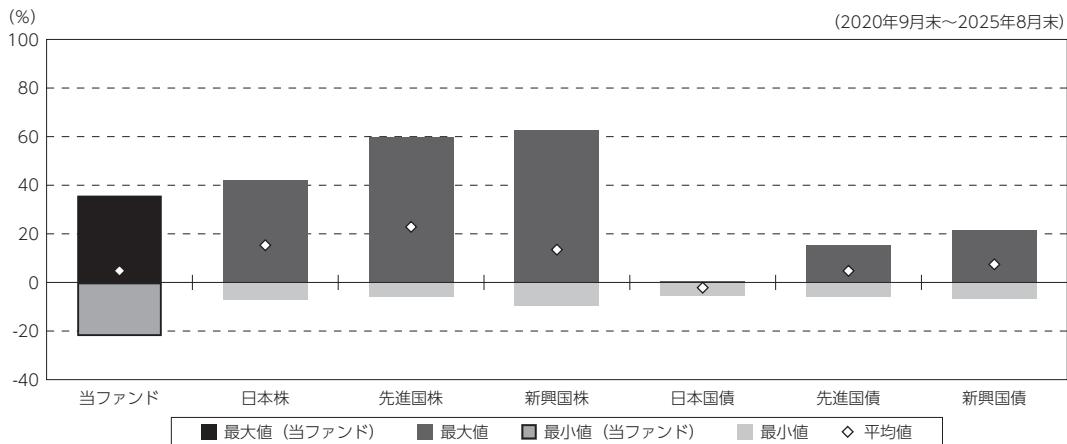
指標に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」のベンチマーク（ICE BofA 国債インデックス（1～10年債））について

ICEの指標データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（以下「ICE Data」）及び／またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	(単位:%)							
	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債	
最大値	35.7	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5	
最小値	△ 22.1	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0	
平均値	4.8	15.3	22.9	13.5	△ 2.2	4.8	7.4	

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年9月から2025年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCI - KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

*各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

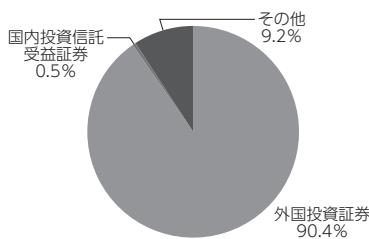
○組入上位ファンド

銘柄名	第26期末 %
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ	90.4
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	0.5
組入銘柄数	2銘柄

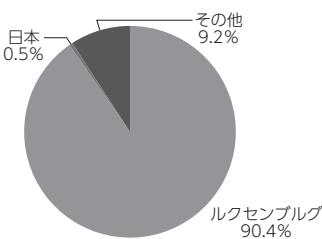
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

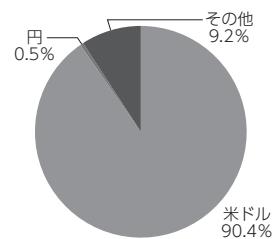
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

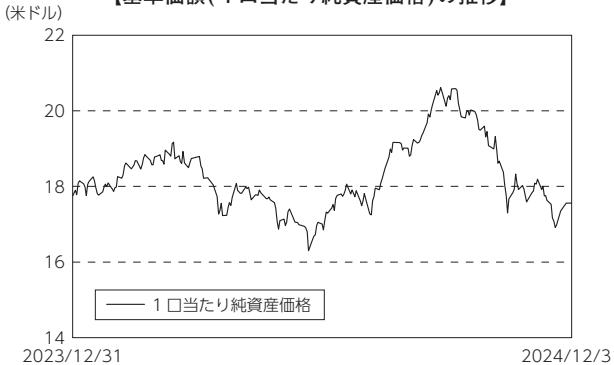
項目	第26期末
	2025年9月8日
純資産総額	1,029,619,393円
受益権総口数	1,140,962,215口
1万口当たり基準価額	9,024円

(注) 当期中における追加設定元本額は55,637,170円、同解約元本額は121,805,893円です。

組入上位ファンドの概要

イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J

【基準価額(1口当たり純資産価格)の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月1日～2024年12月31日)

当該期間のAnnual Report（監査済み）には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

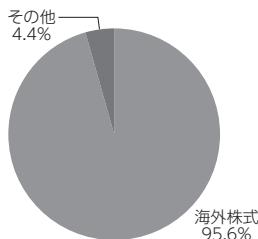
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンドの内容です。

【組入上位10銘柄】

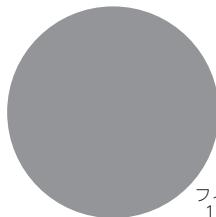
(2024年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	SMインベストメンツ	資本財	フィリピン	10.0%
2	バンコ・デ・オロ・ユニバンク	銀行	フィリピン	9.8%
3	フィリピン・アイランズ銀行	銀行	フィリピン	9.8%
4	インターナショナル・コンテナ・ターミナル・サービス	運輸	フィリピン	9.6%
5	グローブ・テレコム	電気通信サービス	フィリピン	5.1%
6	ジョリビー・フード	消費者サービス	フィリピン	4.9%
7	PLDT	電気通信サービス	フィリピン	4.9%
8	SMプライム	不動産管理・開発	フィリピン	4.8%
9	メトロポリタン銀行	銀行	フィリピン	4.8%
10	アヤラ	資本財	フィリピン	4.2%
組入銘柄数		25銘柄		

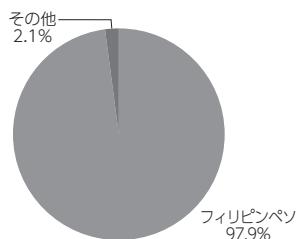
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの（監査済みおよび同時点の関連データを含む）を使用しています。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧いただけます。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）



【1万口当たりの費用明細】

(2024年2月27日～2025年2月25日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 記 託 会 報 会 社 酬 (社)	23 (15) (2) (6)	0.219 (0.143) (0.022) (0.055)
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用)	1 (1)	0.013 (0.013)
合 計	24	0.232

期中の平均基準価額は、10,493円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2025年2月25日現在)

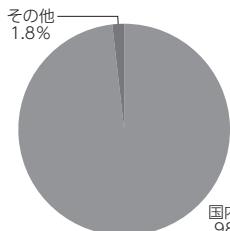
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	第359回利付国債(10年)	国債	円	日本	21.9%
2	第91回利付国債(20年)	国債	円	日本	18.2%
3	第117回利付国債(20年)	国債	円	日本	11.7%
4	第14回利付国債(30年)	国債	円	日本	9.5%
5	第351回利付国債(10年)	国債	円	日本	7.7%
6	第354回利付国債(10年)	国債	円	日本	7.5%
7	第87回利付国債(20年)	国債	円	日本	7.4%
8	第13回利付国債(30年)	国債	円	日本	5.9%
9	第80回利付国債(20年)	国債	円	日本	5.7%
10	第75回利付国債(20年)	国債	円	日本	2.6%
組入銘柄数		10銘柄			

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

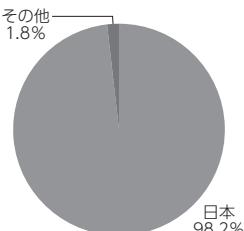
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

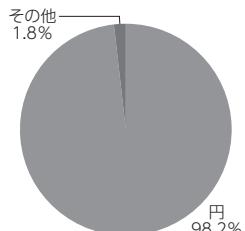
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について>

騰落率は、データソースが提供する各指標をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指標値及び同指標に係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指標で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指標で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指標です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指標です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指標です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。